

平成 18 年 2 月 17 日

各 位

## 株式会社 アプリックス

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号  
(コード番号：3727 東証マザーズ)  
代表者 代表取締役社長 郡山 龍  
問合せ先 執行役員 経営企画室室長 杉浦 慶枝  
電話番号 03-5286-8436 (経営企画室)

### 平成 17 年 12 月期通期業績予想修正に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 11 月 15 日の第 3 四半期業績発表時に公表した平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで）連結および単体業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 17 年 12 月期単体業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,800	600	300
今回修正予想 (B)	4,693	803	477
増減額 (B-A)	△107	203	177
増減率 (%)	△2.2	33.8	59.0
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 12 月期)	3,541	471	273

#### 2. 平成 17 年 12 月期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益 (△経常損失)	当期純利益 (△当期純損失)
前回発表予想 (A)	5,200	△3,030	△3,330
今回修正予想 (B)	5,028	△2,960	△3,313
増減額 (B-A)	△172	70	17
増減率 (%)	△3.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 12 月期)	3,678	△1,411	△1,594

#### 3. 修正の理由

単体業績につきましては、製品売上高は順調に推移したものの、一部の顧客向けの案件等で、本連結会計年度に計上を想定していた売上高の一部につき、次連結会計年度にずれ込むものが発生したことなどにより、当社予想を下回る結果となりました。一方、売上高の計上はずれこんだことにより、当該売上高に関連して発生する費用の計上も次連結会計年度に認識するものが発生したこと、また、従前より進めてまいりました開発リソースの

国内から海外への拡大が順調に進捗し、想定していたものよりも開発費用が抑えられたことなどにより、経常利益および当期純利益が当社予想を上回ったことから業績予想値を上記のとおり修正いたしました。

連結につきましても、単独と同様に、製品売上高は順調に推移したものの、一部の顧客向けの案件等で、本連結会計年度に計上を想定していた売上高の一部につき、次連結会計年度にずれ込むものが発生したことなどにより、当社予想を下回る結果となりました。一方、売上高の計上がずれこんだことにより、当該売上高に関連して発生する費用の計上も次連結会計年度に認識するものが発生したことから、経常利益および当期純利益についてはほぼ当社予想の範囲となりました。

なお、平成 17 年 12 月期通期業績につきましては、平成 18 年 2 月 20 日に発表する予定となっております。

#### 4. 営業損益および償却前営業利益の公表について

当社の経常的な営業活動につき、投資家の皆様のご理解を深めていただくために、平成 17 年 12 月期通期単体および連結業績予想につきましては、売上高、経常利益および当期純利益の予想額に加え、営業利益および償却前営業利益の予想額を合わせて公表いたします。

当社の平成 17 年 12 月期連結業績については、連結調整勘定償却額（いわゆる「のれん代」）が 3,692 百万円含まれる見込みであり、赤字予想の主要因となっております。

（単位：百万円）

	売上高	償却前 営業利益	営業利益 (△営業損失)	経常利益 (△経常損失)	当期純利益 (△当期純損失)
単体通期業績予想	4,693	1,272	745	803	477
連結通期業績予想	5,028	1,243	△3,001	△2,960	△3,313

※ 単体償却前営業利益は、営業損益から減価償却費の見込み額 527 百万円を除いたものです。

※ 連結償却前営業利益は、営業損益から減価償却費の見込み額 551 百万円ならびに連結調整勘定償却の見込み額 3,692 百万円を除いたものです。

以 上